



充実した夏休みにするために

校長 石川和明

大きな事故もなく全校生徒の皆さん一人一人が無事に終業式を迎えたことを心から嬉しく思います。明日から41日間の夏休みに入ります。充実した夏休みにしてもらいたいという願いを込めて、2つのことをお伝えいたします。

一つ目は、「今の自分と向き合い、未来の自分を想像して、その想像力を原動力にして夏休みを充実させてほしい」ということです。今週(火)に全校生徒に「続ける力第二弾」の用紙を配って、任意で書いてもらいました。これまでまとめて出してくれたクラスもありました。その中から三つ紹介したいと思います。一つ目、3年2組のある男子生徒はチームの中心選手として、「楽しくサッカーすること」を目標に、「毎日やるべきことをきちんとやること」を続けています。続ける原動力は「努力を続けた先の自分のことを考えること」だそうです。まさしく未来の自分を想像することができる前向きな想像力の持ち主です。同じく3年2組のある女子生徒は、合唱祭副実行委員長として、「最高の合唱祭」を目指して、「クラスだけではなく、学年、学校のみんなに的確な指示を出せるようにしていくこと」を目標に、「みんなの歌声」を原動力にしているそうです。そして、多くの3年生が「受験生」としての目標や具体的な努力、そしてそれを続けるための原動力を書いてくれています。まさしく「今の自分と向き合い、未来を想像しながら、前向きに過ごす夏休み」にしてくれることを期待させてくれるものばかりでした。

次に二つ目についてです。それは昨年も話した「生徒一人一人が夏休みの目標と計画を立てた以上はぜひ達成できるように粘り強く取り組んでもらいたい」ということです。昨年もお伝えしたあるブログに載っていた「あきらめない人の7つの特徴」と「あきらめない心を育てる3つの方法」を紹介します。ぜひ参考にしてほしいと思います。

「あきらめない人の7つの特徴」

1. 一つの事をやり遂げた成功体験を持っている
2. 辛い状況も成長できると前向きにとらえられる
3. 叶えたい夢や目標をしっかりと持っている
4. 負けず嫌いで何事も最後まできっちりとやり遂げる
5. 自己肯定感が高く、「自分ならきっとできる」と思っている
6. 集中力に優れており、一つの物事に対して没頭できる
7. 弱音や不満など、ネガティブな言葉を口にしない

「あきらめない心を育てる3つの方法」

1. 何がなんでも叶えたい夢や目標を見つける
2. 何か一つでもいいので、小さな成功体験を経験する
3. 辛い時でも上を向けるよう、日頃からポジティブ思考でいることを心掛ける

最後に、夏休みは生徒の皆さんが家庭や地域の中で過ごす時間が多くなります。ぜひ家庭や地域の一員としての役割も積極的に果たしてもらいたいと思います。そして皆さん一人一人が心も身体も健康に安全に過ごせますように願っております。保護者や地域の皆様にはこれまで以上に子供たちを見守っていただき、導いていただければありがたく存じます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。